

山梨県平和行進 ニュース

2016年7月15日 NO. 3
国民平和大行進
山梨県実行委員会
甲府市朝日5-7-2
平労会館内
連絡先:090-4078-4596

県内行進3日目 南部町役場～身延山久遠寺～早川町役場～身延町役場 平和のいのり納経塔 を訪問



佐野真穂子さんのあいさつ

平和行進3日目は、県最南端の南部町からスタートしました。南部町町長は出張で不在でしたが、職員約20名の出迎え、署名は約90筆を事前に郵送していただいていたありました。その後、車で身延山にある「平和のいのり納経塔」を訪問し、身延山久遠寺 吉村法務部長からごあいさつをいただき、献花、焼香を行い、長崎で被爆された佐野真穂子さんの話を聞きました。「長崎で被爆、縁あって身延へ。被爆者ということ、口にしたいはなかった」と辛い胸の内を明かし、「この塔を知ってもらいたい思いから、話をするようになった。来ていただいて、非常に感謝しています」と話してくれました。

昼食後、早川町を訪問。9期目の辻一幸町長は「第二次大戦に学ばなければいけない。中国、朝鮮など多くのアジアの人々を日本は犠牲にした。そんな戦争を正当化しようとする動きもある。」と訴えました。また「町村合併は学校をつぶすだけ。学校をつぶすことは、地域をつぶすことだ」とも語り、「都市の発展を優先してきた政治が、過疎過密を生んだ。国の責任は大きい。」と断じました。

身延町では望月仁司町長から激励のあいさつをいただき、「戦争体験をした人がいなくなっていくことが不安だ」と語りました。署名は約150筆をいただきました。西島地区の行進には、6歳の子も参加して、少人数ながらも元気に行進をしました。

通し行進者の山田さんは「早川町の町長さんは、これまでの首長の中で最高の方。身延山の話も、大変感動した」と感想を述べてくれました。参加者はのべ13名と少なかったですが、天気にも恵まれ、充実した一日となりました。